

いしだ あゆみ  
 中嶋 朋子  
 永島 敏行  
 石田 孝則  
 陣内 則  
 岡田 眞澄  
 室田 日出  
 垂水 悟郎  
 五 月 俊夫  
 田 中 邦と  
 渡 哲 衛  
 (特別出演) 也

製作 影久 重  
 企画 アロデュケーター 白岡 裕  
 製作 補 影明 米一  
 撮影 録 音 術 集 倉本 聡  
 脚本 監 督 倉本 聡  
 協力 品川プリンスホテル  
 宣伝担当 ヘルルド・エース

あの時、泣いていた君が  
 ……いま、アデュー・リベールさよなら冬。  
 逢いたい！別れた父の写真を胸に  
 少女は白いリンクを舞った

倉本 聡 第一回監督作品

# 時計

*Adieu l'hiver*



製作/フジテレビジョン  
 製作協力/ニュー・センチュリー・プロデューサーズ  
 配給/日本ヘルルド映画





倉本 聡 第一回監督作品

# 時計

Adieu (Hiro)

製作/羽佐間重彰 企画/日枝 久  
プロデューサー/岡田 裕、角谷 優  
撮影/前田米造 監督・脚本/倉本 聡

サントラLP盤(ヘラルド・エース)(原作シナリオ)理論社刊  
協力/品川プリンスホテル/スケートセンター/東亜国内航空



一人の女の子(中嶋朋子)が、一つの歌が(時は過ぎてゆく)金子由香利)倉本聡の心を捉えついにひとつの時をめぐる愛のドラマが誕生した。この「時計 Adieu (Hiro)」は「駅 STATION」TVドラマや「北の国から」など数多くのヒットドラマを手がける人気脚本家、倉本聡の第一回監督作品である。  
「時は人を老けさせるが、同時に美しくも厳しくもする。この本物の「時の美しさ」を映画にしたい」と想い、倉本聡の情熱が、日本映画史上いまだかつてないドキュメンタリーとドラマが重なった映画をつむぐことになった。  
1983年から5年の歳月、北の国からの名優渡哲(中嶋)の9才から14才までの成長をスクリーンにうつすことによつて、観客にまちはがなくな本物の感動をよびおこす。ストーリーは、スケート選手をめざす夕子、中嶋の「女の子」から「少女」へと成長する過程に展開する親子の夫婦のそして男と女の愛のドラマだが、幸福、不安、裏切り、絶望……5年の「時」のドラマが母娘に残酷なまでに押しよせてくる。そんななかにも、思いやり、優しさ、いじらしさなどさまざまな親子の微妙な心のゆれ動きを倉本聡独特の視線のあたかざでリカルに描いている。  
夕子は9才。フィギュア選手とアイスホッケー選手だった両親も、いまは離婚し、スケートセンターでコーチする母、令子(いしだあゆみ)と二人暮らしであった。夕子の父(渡哲也)はアイスホッケーの極東製紙チームの監督をしているが、夕子は新聞記事から切り抜いた父の写真を自分のロケット時計に入れて入れている。そうした父への思いが、いつか夕子をスケートの世界に誘いこんだ。



「時」をめぐるドラマを創りたい。  
「時」というものが、たしかに流れていく。ドラマを撮りたいと倉本聡は思った。

ある日突然、夕子にスケート映画の主役の話がきた。若手映画監督木谷大介(永島敏行)によると、スケート選手をめざすひとりの少女の5年間の軌跡を撮るといふ。最大のヤマは、5年後のフローズンカップ大会になるが、はたして9才の夕子にできるだろうか。  
夕子の特訓の日々と撮影が快調に進む一方、令子と木谷の間にはしだいに愛が芽ばえていくのだった。

★「駅 STATION」や最近作「火宅の人」と今一番の女優いだあゆみ好評!  
元フィギュア選手で母親令子を演ずるのは、



いしだ あゆみ  
中嶋 朋子  
永島 敏行  
石田 えり  
陣内 孝則  
田中 邦衛  
渡 哲也

★「北の国から」螢の成長がスクリーンに

この映画の最大の魅力は、中嶋朋子の9才から14才までの実際の成長を追っていることである。「北の国から」であのいじらしいかわいいた女の子を演じた中嶋朋子は、9才の時突然スケートをしないかと言われたことから夕子と同じように5年間スケートの特訓をうけた。映画のハイライト、フローズンカップにむけてみせた朋子の根性は、子役から女優へとひとまわり成長させた。これからはが楽しみな女優の誕生である。

★脇をかためる芸達者たち

鬼才の映画監督という異色の役柄に挑戦しているのは、「サード」 「遠雷」の永島敏行。その恋人の女優役に石田えり。いしだ、中嶋母娘の良き相談相手で、この映画でも一際際立って、見る者に好印象を与えるケイに、TV「ライスカレー」で人気急上昇中の陣内孝則。他に田中邦衛、岡田真澄、室田日出男、柴俊夫、五月みどりといった芸達者が脇をかためている。

小学校6年の時、全関フィギュア大会で優勝の経験をもついしだあゆみ。ホレロの曲にあわせて華麗なアイスショーを披露してくれるが、26年ぶりのスケートとは思えない健在ぶり。本人も「こんなに楽しいスケートは始めて。スケートの思い出はつらい事は(は)かり。」と言っている。

★渡哲也11年ぶりの映画出演。

「やくざの墓場くちなしの花」でブルリーホン主演男優賞以来11年ぶりの映画出演となる渡哲也は、日活ニューアクション代表スター。アイスホッケーの鬼コーチであり、夕子の父親を演じ、その存在感は他を圧倒している。

★「時は過ぎてゆく」金子由香利

この歌との出逢いが、倉本聡にひとつのドラマを創らせることとなった。金子由香利がうたうこのシャンソンは、「時の流れとともに」、主人公の心情を見事に映しだし、作品の感動をより一層深いものにしていく。その他倉本自身が既成の曲を全篇に挿入している。

■主な挿入曲/  
時は過ぎてゆく(金子由香利)  
恋人よ(五輪真弓)  
この気分が好きよ(高橋真梨子)  
エレイン(中島みゆき)  
ハートライン(浜田麻里)  
モフローグの九月(高橋真梨子)  
石狩挽歌(北原ミレイ)  
越冬つばめ(森 昌子)  
白い恋人たち



(製作)フジテレビジョン (配給)日本ヘラルド映画 (製作協力)ニュー・センチュリー・プロデューサーズ

10月10日 <祝>より「今秋・待望の」ロードショー  
前売鑑賞券発売中<一般1200円/学生1100円> 当日一般1500円 学生1300円 ■お得なペア券2200円も発売!

伊勢丹前 シネ・タウン  
新宿スカラ座 (351) 3127